

(別添資料1)

事業所名		児童発達支援ゆめ		支援プログラム（放課後等デイサービス）		作成日		令和7	年	5	月	6	日			
法人（事業所）理念		小さなことでも「出来た」の経験を積み重ね、「自分は出来る」と自信がつくことで自己肯定感が高まり、ありのままの自分を認めることが出来ます。礼儀・規則の中での自由な環境こそが子ども心と体が成長していけると考えています。一人ひとりが「夢」を持ち、その実現に向かって羽ばたいていけるよう、支援していきます。														
支援方針		個々の能力を最大限に生かせるよう、細やかなアセスメントを行い、子どものペースで成長出来るよう支援します。個別、小集団の活動の積み重ねで基本的な生活習慣を身に着けることが出来るよう支援します。														
営業時間			10	時	00	分から		18	時	00	分まで		送迎実施の有無	あり	なし	
		支 援 内 容														
本人支援	健康・生活	個々の身体状況を把握し、職員や他児童との触れ合いを通じた日常生活に寄り添った支援を行い、職員や他児童とのやり取りが楽しめるよう支援します。利用してからのスケジュールを明確にし自主的に行動出来るよう支援します。														
	運動・感覚	個別及び小集団で様々な感覚を刺激する運動を通じて、子どもの有する能力を引き出し、次へのステップに繋げて行きます。また、感覚が過敏な子どもにも配慮した環境を作り、楽しみながら身体機能の向上が出来るよう支援します。														
	認知・行動	感覚を通して得た情報を正しく活用し、認知機能の発達を促します。空間・時間の概念の形成を図ることにより、それを認知や行動へ繋げられるよう支援します。数量、形の大きさ、色の違い等の習得のための支援をします。周囲の情報から必要な情報を取得し、行動に繋がれるよう支援します。認知のこだわりなど、個々の特性に配慮した支援を行います。														
	言語コミュニケーション	子どもの目線に合わせ、話に耳を傾け、共感し、子どもが話すことを楽しむような雰囲気を作ります。個々の能力に合わせて、音読、書き取り等言語の指導を行います。また、絵カード、かるた遊び等を通して他児童との関わり方を習得できるよう支援します。														
	人間関係社会性	子どもと職員との信頼関係を構築に努め、それを基礎に周りとの安定した関係が築けるよう支援していきます。簡単なルールのある運動や遊びを通して、集団でのルール等を理解し、周囲との調和を図りながら、行動出来るよう支援します。必要な社会性を身に着けていくよう支援します。														
家族支援		ご家族からのお子さんの家庭での様子や心配などについてお話を伺い、ご家庭でも実践出来るような環境づくりや関わり方の工夫を一緒に考えます。ご家族の精神面でも						移行支援		学校、他事業所との情報共有、連携。成長に応じた個別支援計画書の見直し。ライフステージに合わせた自立訓練。						
地域支援・地域連携		学校、他事業所、行政等関係機関との連携。地域の行事への参加。						職員の質の向上		外部研修の受講や事業所内研修を実施し、職員の専門的な知識やスキル、支援の質の向上に努めます。						
主な行事等		各季節のイベント開催予定。														